

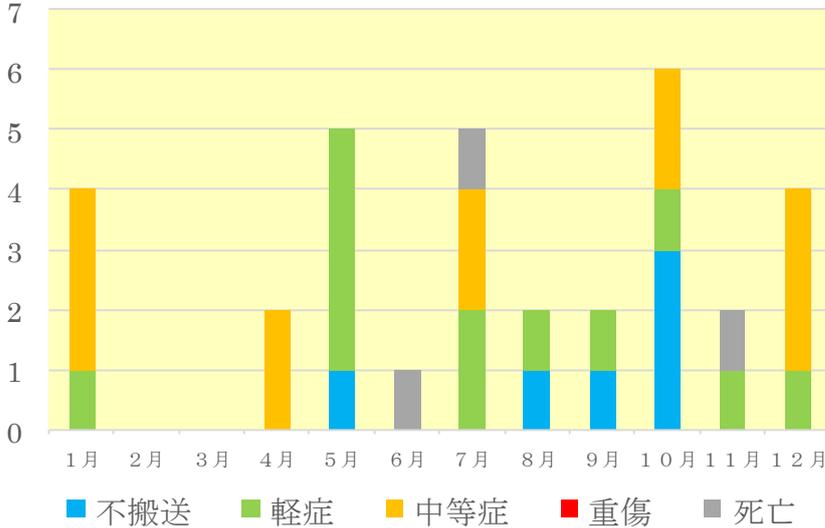


埼玉西部消防局 山岳救助隊 NEWS

春号

令和6年
3月発行

令和5年 月別山岳救助 負傷者数



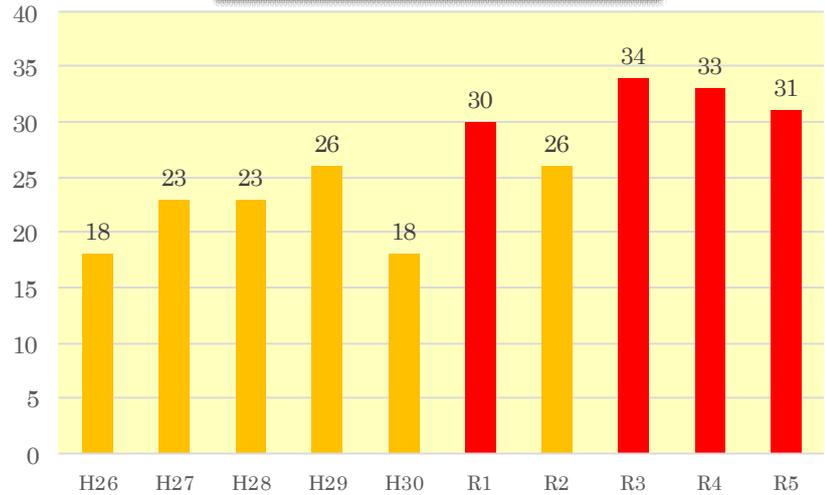
統計を見ると梅雨や葉っぱが枯れ出した時期に救助件数が多いのがわかります。

登山道がぬかっていたり、葉で足が滑りやすくなっているため、**ストック**などを携行し歩きましょう。

ストックの代わりに**落ちている木**などを活用するのも良いと思います。

山岳救助件数は年々増加傾向です。
本組合管内の山岳部は、首都圏からアクセスが良く1,000m級の低山ということもあり、気軽に登山が楽しめますが、皆さん装備は万全ですか？
装備を疎かにすると低山でも怪我をします。しっかりと装備を整え、計画的な登山をしましょう。

年別 山岳救助件数



埼玉西部消防局 山岳遭難事故発生状況(令和5年12月から令和6年2月末まで)

発生日	場所	事故内容	年齢	性別	負傷程度
12月3日	日和田山	下山中に気分不快	80代	男性	負傷なし
12月8日	物見山	山頂で休憩中に卒倒	70代	男性	負傷なし
12月25日	天目指峠	下山中に転倒し歩行困難	30代	女性	中等症
12月29日	釜戸山	下山中に転倒し歩行困難	40代	男性	重症
1月19日	多峯主山	下山中に転倒し歩行困難	70代	女性	重症
1月21日	顔振山	道迷い	40代	男性	負傷なし
2月3日	日和田山	登山道から滑落	50代	女性	軽症

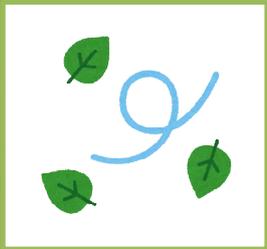
ナラ枯れにご注意！！



上の写真はナラ枯れといい、ナラ菌というカビの仲間が木の中に増えることで、木が水分を根から葉に送ることができなくなり枯れる現象です。幹や枝が折れ、1、2年後には木が倒れてしまいます。本組合管内でもナラ枯れは発生していますので、登山中にも注意が必要です。

危険な木の（ナラ枯れ）特徴

- ・紅葉の時期ではなくても 葉が赤褐色になっている。
- ・幹の低いところに小さな穴（直径2ミリ程度）が多数見られる。
- ・木の根元に、木くずが溜まっている。



荒れた天候



動物



休憩中



歩行中

このような木を発見した際はむやみに近づいたり、触らないようにしましょう。

枝や幹が急に落ちてきて負傷する危険性があります。

また、**天候（強風）**や**動物**の行動などを要因として木の落下も考えられます。

歩行中、休憩中でも頭上に十分気をつけて安全な登山を心掛けましょう。

登山届を提出しましょう！！



いざという時に、役に立つのが「登山届」です。消防・警察の山岳救助隊は、提出された登山届の情報をもとに、捜索活動を行います。登山届は、登山口に設置してあるポストや、埼玉県警察のホームページからも提出できます。

また、家族や身近な人に渡しておくだけでも大きな情報源となります。

